

D24H



戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program
国家レジリエンス（防災・減災）の強化

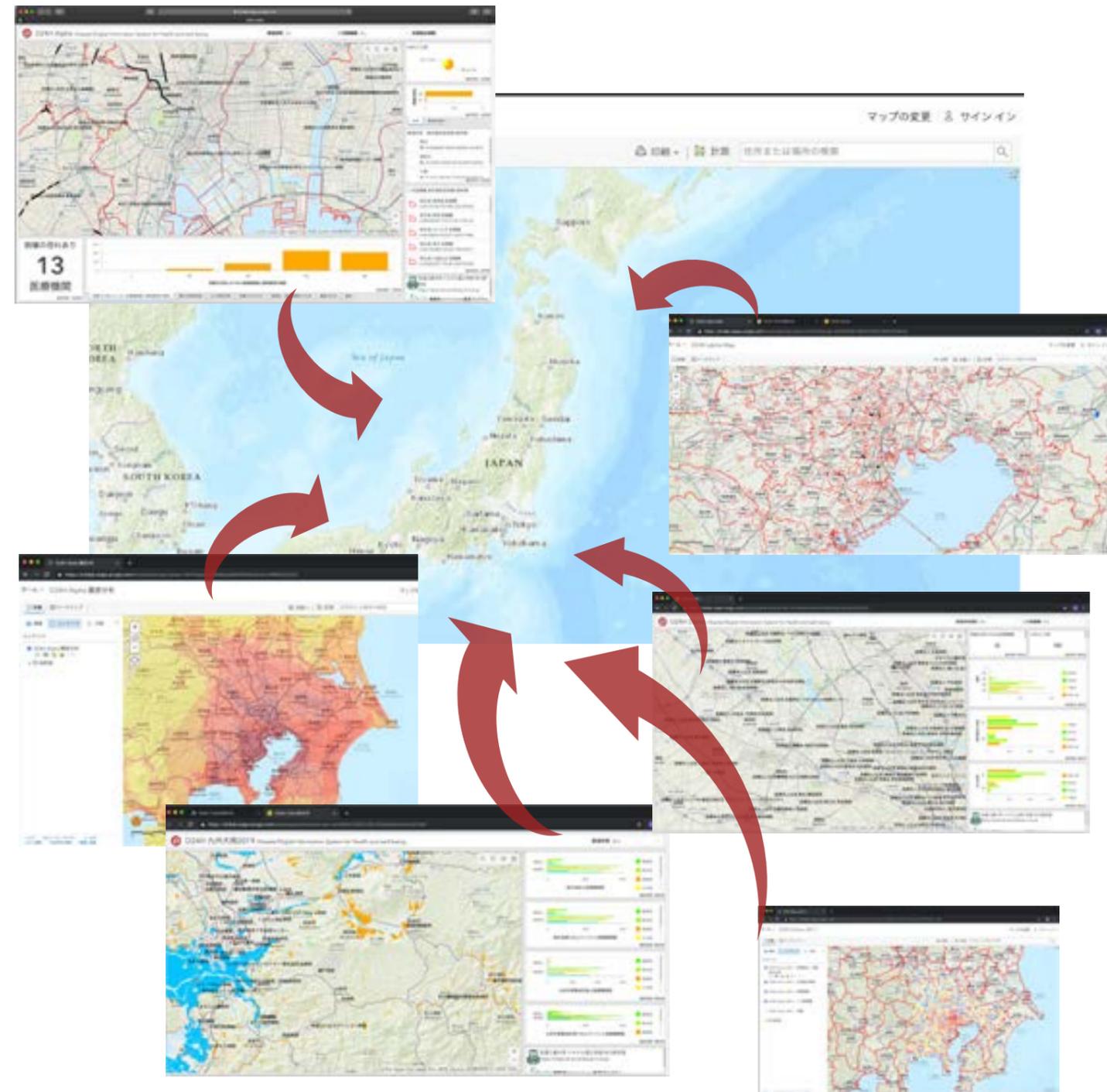


芝浦工業大学
東京工業大学
産業医科大学
災害医療センター
日赤医療センター
浜松医科大学

連絡先

芝浦工業大学 システム理工学部 市川 学
〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作 307
m-ichi@shibaura-it.ac.jp

ALL JAPAN 保健・医療・福祉支援チームを情報システムで支援
D24H：災害時保健医療福祉活動支援システム
(Disaster/Digital information system for Health and well-being)



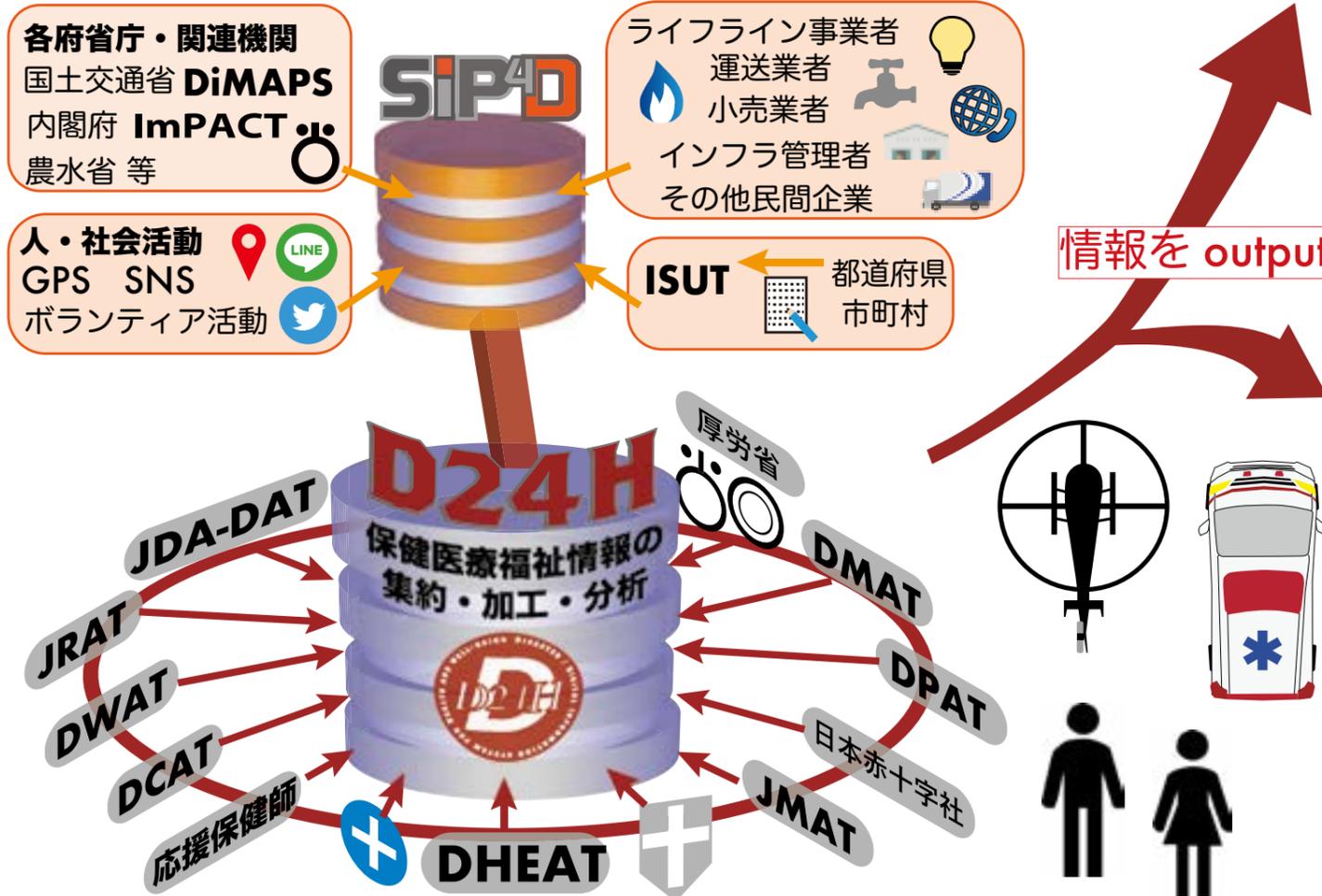


D24H ALL JAPAN 保健・医療・福祉 支援チームを情報システムで支援

D24H: 災害時保健医療福祉活動支援システム (Disaster/Digital information system for Health and well-being)

D24Hは、SIP4D（府省庁連携防災情報共有システム）及び被災地で支援活動を行う保健・医療・福祉チーム（DMAT、DPAT、DHEAT、日赤等）のそれぞれの独自システムと連携し、災害時の保健医療福祉支援活動に必要な情報を収集、整理統合、加工分析し、支援活動の意思決定判断に必要な情報を提供するシステムです。被災地で活動する全ての保健医療福祉支援チームが、D24Hを介してリアルタイムに同じ災害情報を共有できるワンストップ型情報提供を実現しました。また、分析指標を搭載し、各支援チームの支援活動の必要に応じてデータを統計処理、分析結果や被害予測、支援分配量計算を提示します。

D24H がつなぐ ALL JAPAN 保健医療福祉システム連携イメージ
 全ての保健医療福祉支援チームと行政及び厚生労働省が**同じ情報**を共有
 異なる支援チーム間でも**容易な意思疎通**を可能に



様々なデータタイプ+リアルタイムで災害情報を出力

災害情報は、各支援チームの必要に応じた形式でアウトプット。ダウンロード可能なCSV（表計算ソフト対応）やグラフ形式のファイル、情報を一元化して可視化した地図（災害時保健医療福祉活動支援地図）で、災害時支援活動の意思決定判断を支えます。

データの可視化

災害時保健医療福祉活動支援地図
 震度情報 / 医療機関情報 / 道路啓開情報 / ライフライン情報等、データを地図上でまとめて表示

データのダウンロード機能搭載

CSV ファイル
 避難所リスト / 医療機関情報等

データのグラフ化例

分析指標搭載。統計処理してデータをカスタマイズ - 予期と予測 -

各保健医療福祉支援チームの活動内容や必要に合わせてデータを分析、統計処理して地図上に表示。例えば、「平常時人口分布+避難所情報+道路情報」からある地区の被災者の予想避難移動距離を算出したり、「被災地災害拠点病院患者数+道路情報+現地支援チーム稼働状況」などから被災地入りする支援チーム分配量や移動経路の最適化計算結果を算出。的確な予期・予測技術で支援活動方針決定を支えます。

データの予期と予測

災害時保健医療福祉活動支援地図
 地図上に統計分析処理した予測データを表示

建物倒壊可能性機関判定
 震度情報 + 保健所 / 病院建物耐震情報

物資等資源の需要
 避難所避難者内訳 (性別 / 年齢 / 健康状態等) + ライフライン状況

医療資源の需要変化
 時間経過 + 重症患者数 + 健康状態変化

被災地における保健医療福祉支援チームの支援活動方針の意思決定に必要な情報を提供